

かわにし

議会だより

第153号
2023
4.15



微笑の春



川西町議会H.P
QRコード

シリーズ広聴「奇跡の演劇」	2
どうなったあの提言 検証・評価	6
通常の事業展開再開、今年の予算	10
6人が町政をたず	20
街かどインタビュー	29

学校法人天竺学園認定こども園入園式 P31に関連記事

シリーズ
広聴
町が大好き
7

議会ではより多くの町民の方々にご意見を伺い、議会活動の参考にさせていただくと共に、町内の優れた活動を紹介し、多くの方に知ってもらい、知らせる活動も行っています。

この度の「シリーズ広聴」では、令和4年度山形県高校演劇の頂点に立った県立置賜農業高校演劇部の皆さんに、取り組みの苦労や充実感、さらに町や学校に対する要望もお聞きしました。

大会で演じられたのは、演目「テーマの行方」、演劇部顧問の成沢久美教諭のオリジナル作品です。

置賜農業高校演劇部

審査員評

「奇跡の演劇」

山形県高校演劇合同発表会にて 最優秀賞を受賞

東北大会では 優秀賞



審査員に「奇跡の演劇」と評された、わずか4人の演劇部

司会 今日ありがとうございます。試験が終わったところだそう、ほっとしたところでしょうか。3年生の方は卒業間近でお忙しいところ、置賜農業高校演劇部の方にお集まりいただきまし

た。県大会で最優秀賞、「奇跡の演劇」と評価され、絶賛を浴びました。東北大会にも出場されて、優秀賞の成績で、全国大会の切符は逃したものの素晴らしい成績でした。

理由は何でしょうか

小林 私は演劇やミュージカルとか、何か演じるものを見るのが好きで、私も演じる立場になってみたくて入りました。実際やってみると、なかなかうまく表現できなくて、ちよっと難しかったで



小林 海花さん
園芸福祉科 2年
白鷹町出身

す。でも、そういったことも含め全部楽しいなと思っています。部活という、普通10人とか20人という人数ですが、はじめから4人でした。

1年生の時、食育ミュージカルなどに取り組んでいたせいもあるかな。演じる楽しみや先輩のすごさを感じたせいかと思います。

参加者名簿

氏名	学年	スタッフ	役名
関場 琴音	3年	演出	さく役
梅津 龍司	3年	照明	つとむ役
小林 海花	2年	舞台監督	りか役
安部 善貴	1年	音響	みのる役
江本 一男	演劇部顧問		
橋本 欣一	広聴広報常任委員会委員長(司会)		
遠藤 明子	広聴広報常任委員会副委員長		
伊藤 進	広聴広報常任委員会委員		
寒河江 司	広聴広報常任委員会委員		
井上 晃一	広聴広報常任委員会委員		

司会 関場さん、梅津さん、安部さんはどうですか。

関場 演劇部に入ったきっかけは、声優が好きで、自分も声優になりたいという憧れがあつて入りました。声だけと違い体全体で表現するのはまた違うし、演じることをしたいと思えました。3年になって4人になり、自分が一番上なので、どうまとめようかだいぶ迷いました。でも、みんな頼りになる人ばかりだったのでチームワークが良く、楽し

梅津 中学校の時は卓球をしていて、

高校でもやろうかと思いましたが、でも、スポーツがちょっと苦手なので、一応軽い気持ちで演劇部を選びました。1年生の時は先輩が何人かいたので遠慮気味でしたが、3年になって4人になり、部員が少ない中、県大会で最優秀賞をとったり、東北大会に出場したりで、本当にすごい経験をしたと思っています。少しは自信がつかまりました。

安部 私は小学2年生までフレンドリープラザの子でも演劇教室に入っていました。高校に入り陸上部に入るか演劇を続けるか迷いましたが、やっぱり人を笑顔にしたり、笑ってもらえるという喜びや楽しさがいいなと思い、演劇を選びました。

コロナの中での 苦しい部活動

司会 皆さんのコロナの影響で、活動の制限や、特に観客なしの演劇が続き、とても苦しい時期が続いたと思います。関場部長さんどうでした。

関場 大会では、学校の顧問の先生や演劇部の生徒さんだけの大会が続き、先日の東北大会出場応援公演では、初めて家族を呼び多くの方に応援してもらいました。



関場 琴音さん
食料環境科 3年
米沢市出身

少人数だからこそできたと思う

観客が笑ってくれると嬉しい



東北大会出場のため活動資金を募る = 応援公演にて



息が合うまで納得の練習



梅津 龍司さん
生産生物科 3年
長井市出身

司会 観客が増えると反応はどうでしたか。

関場 最初、めっちゃ緊張しました。観客が笑ってくれると嬉しくなり、みんなだんだんやる気が出て、楽しさが増してきました。最後は、もうここが最高という気持ちになりました。

司会 議会としても、議員全員で応援しましたか、どう感じましたか。

遠藤議員 熱意が伝わる演劇で感激しました。訴えること、考えさせられることがありました。4人だけでも十分心に伝わりました。



安部 善貴さん
食料環境科 1年
川西町出身

反面、お互いをすごくよく知る機会が多く、この人数だからこそ仲良くできました。けいこ中も先輩として敬意を持ちつつ、空気が悪くならずに、思いっきりできました。大変だったのは、もともある台本からは探せなくて、自分で書こうと挑戦したけれど

もまとめられなくて、最後は限られた条件を生かした台本を先生に書いてもらいました。演じきるまで時間がかかりましたが、練習中相手の演技をアドバイザーしたりできて、言われたことをちゃんと受け取って、やってみるという姿勢がありました。少人数だからこそ

関場 前を向いて演技しろとよく言われます。すると、見る気がなくともつつい観客の視線は目に入り

安部 誰も知らない状態で、みんなを知ることから始めることが大変でした。高校演劇は1時間の上演時間ですが、子ども演劇は40分ぐらいなので、20分も長いと心配でした。大会となると、観客も年上の年齢層なので、子どもに見せるというより、大人に見せなきゃいけないというプレッシャーもありました。演じているとつい観客の視線が気になります。

梅津 4人だけなので、誰かが休むと練習はもろろんですし、本番では代役もないので、何が何でも休めませんでしたが、健康管理も大変でした。

江本先生 学校でも、文化祭の際、生徒に見てもらいました。応援公演でも、同級生が応援に駆けつけてくれました。でも、在校生に観られるのが恥ずかしいという感じですかね。以前の食育ミュージカルでもクラスメイトに観られるのは照れ臭い面があったようにです。生徒たちは体育館のステージじゃなく、しっかりと舞台上で堂々とした演技でした。この子たちが1、2年生だとまた来年につながるのですが、3年生が2人抜けるとなると厳しいです。新入生に期待したいですね。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

司会 少人数の演技の悩みやご苦労はどうですか。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

伊藤議員 あの公演は、応援しなきゃという気持ちで見させてもらいました。観客の熱意を感じました。最初は緊張しているなと思いましたが、どんどん引き付けるものがあり、演者と会場が一体化したように思えました。これが奇跡なんだろうと感じ、人間自信がでけると変わってきますね。そして、十分応えた演技でした。素晴らしいかったです。ありがとうございます。

一人一人がすごく大きく見えました。

小林 ストープをもつと暖かくしてもらいたい、とても寒い。関場 通学では消雪の水をかけられる。逆の方からも飛んできて顔までかけられる。学校から大通りに出るとき車が止まってくれない。危ないですね。

小林 ストープをもつと暖かくしてもらいたい、とても寒い。関場 通学では消雪の水をかけられる。逆の方からも飛んできて顔までかけられる。学校から大通りに出るとき車が止まってくれない。危ないですね。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

小林 少人数だと、既存の台本ではできなかつたり、やれることが限られてきます。

援公演でも、同級生が応援に駆けつけてくれました。でも、在校生に観られるのが恥ずかしいという感じですかね。以前の食育ミュージカルでもクラスメイトに観られるのは照れ臭い面があったようにです。生徒たちは体育館のステージじゃなく、しっかりと舞台上で堂々とした演技でした。この子たちが1、2年生だとまた来年につながるのですが、3年生が2人抜けるとなると厳しいです。新入生に期待したいですね。

川西町と山形県立置賜農業高校との連携に関する協定書

相互の発展に資するため、資源および研究成果等の交流を促進し、産業、教育、文化の分野で協力していくための協定を結んでいる。(平成27年3月23日)

地域産業の振興や人材育成に関することや6次産業の推進などを目指しており、年間30万円の連携支援補助金と、他に資格取得支援、農業実習支援として40万円を補助している。

梅津 下校時間と列車時間が合わなくて、時間つぶしが大変です。役場跡地が活用されるようですが、ぜひ気軽に立ち寄れる施設にしてほしいです。

安部 私は自転車通学ですが街路灯が少なく危険な時があります。ぜひ明るくしてほしいですね。

梅津 下校時間と列車時間が合わなくて、時間つぶしが大変です。役場跡地が活用されるようですが、ぜひ気軽に立ち寄れる施設にしてほしいです。

安部 私は自転車通学ですが街路灯が少なく危険な時があります。ぜひ明るくしてほしいですね。

梅津 下校時間と列車時間が合わなくて、時間つぶしが大変です。役場跡地が活用されるようですが、ぜひ気軽に立ち寄れる施設にしてほしいです。

安部 私は自転車通学ですが街路灯が少なく危険な時があります。ぜひ明るくしてほしいですね。

梅津 下校時間と列車時間が合わなくて、時間つぶしが大変です。役場跡地が活用されるようですが、ぜひ気軽に立ち寄れる施設にしてほしいです。

安部 私は自転車通学ですが街路灯が少なく危険な時があります。ぜひ明るくしてほしいですね。

梅津 下校時間と列車時間が合わなくて、時間つぶしが大変です。役場跡地が活用されるようですが、ぜひ気軽に立ち寄れる施設にしてほしいです。

次は政策検証

令和3年度政策を 検証・評価

あの提言

どうなった

3月22日、3月定例会最終日に、令和3年度政策提言検証評価報告書が鈴木議長から原田町長に手渡された。

議会基本条例に規定した、開かれた議会のテーマのもと、町民との意見交換会をもとに、町行政の施策の分析と討論を行った。これで「政策提言→検証→評価」の1サイクルが終了することになる。9度目の政策検証となるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、意見交換会が開催できないこともあって、町民の意見の吸い上げが十分にできないままの提言が続いている。

中長期の政策は成果が見えないため評価が低くなる。施策にスピード感がなければ評価が上がらないとも言える。全体的な予算の配分や首長の政策方針に対して、議会の総合的な検証評価となる。

川西独自の 検証システム

議会は、町の政策計画から実施の過程で多面的に関わり、最終的に重要な意思決定を行う機関である。実際には、多くの政策は町が計画して議会に提案され、質問、質疑、修正等を通して決定される。

また、執行機関の行政の運営や事業の実行が適正に公平・効率的に実行されているか監視する機関でもある。

川西町議会は「川西町議会基本条例」を制定し、町当局に政策提言を行い、さらに1年後検証・評価を行った。当時検証・評価のシステムはなく、先進事例もないため、川西町議会が全国に先駆けて独自に考案し、改良改善を重ねてきた。

1年後の到達点を 5段階評価

具体的な評価方法は令和3年11月の町長からの回答書をもとに各常任委員会ごとに検証を行った。

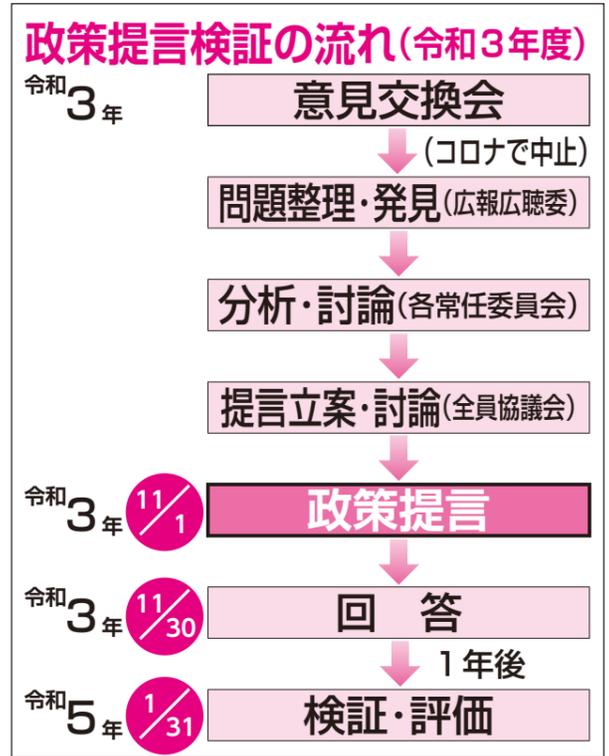
- ① 政策を必要とする背景
- ② 提案に至るまでの経緯
- ③ 町民参加の実施の有

無およびその内容
④ ほかの自治体の類似する政策との比較
⑤ 総合計画における位置づけ
⑥ 財政的な裏付け
⑦ 将来にわたる政策などの効果とコスト

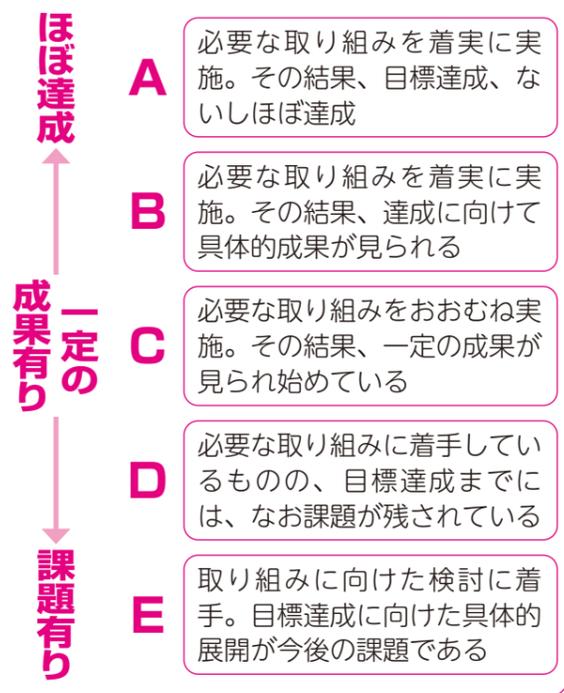
担当課から回答後1年の施策実施状況の聴き取りを行い、その後各議員が5段階評価を行う。全議員の平均点が評価となる。さらに、広聴広報常

任委員会で整理・検討を行い、全員協議会などに諮り、正式な報告書となる。

独自の検証システムなので、提言後1年では成果の出ない施策も多く、高評価が出にくい面もあるが、当面はこのシステムによる検証を行っていく。評価基準は左表のようになる。評価基準日は、令和5年1月31日現在である。



政策検証評価基準



町民生活を豊かにしていくため = 議長から町長へ検証評価報告書を手交

2 深刻な打撃を受けている商店、飲食店等へのきめ細かな支援を行うこと

回答 独自の経済対策として、第4弾となる「プレミアム30」を販売。さらに、新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けた町内飲食店等の売上向上と地域の消費を促進し町内の経済活性化を図るため、利用金額に応じて割引を行う「川西町飲食店等テイクアウト支援事業」を実施している。

今後、関係団体との連携を図りながら、経営状況と支援ニーズに基づき、事業の持続可能な環境整備に向けた効果的な支援を継続していく。

検証評価 一定の成果がみられたが、それぞれのニーズにあった支援策を講ずるべきである。プレミアム付クーポン券発行については、今後の対策に課題が残った。

1 事業者が経営を持続できるよう、効果的な経済対策を行うこと

回答 令和3年度においては、引続き事業全般に広く使える「川西町経営支援交付金」を創設するとともに、小規模事業者に対する新しい生活様式への対応を目的とした「新・生活様式対応支援交付金」事業を実施している。

さらに、川西町商工会が行う緊急対策の円滑な推進を図るため、「川西町商工会緊急対策事業」として引き続き運営経費を補助するなど、町内事業者等へのきめ細かな支援につながるよう努めている。

検証評価 支援策は一定程度の効果を与えている。引き続き支援に取り組むべきである。

提言3

ポストコロナ時代における町内事業者に対する継続した支援

2 自治会の実状に配慮した運営への支援体制を整えること

回答 本町においても人口減少や高齢化により、自治会を維持運営することが困難になる例が生じている。

今後、自治会が担う役割はますます大きくなると考えられることから、社会状況の変化と住民ニーズを的確に把握し、引き続き地域の特性にあった支援の在り方を研究し対応していく。

検証評価 人口減少の進行で自治会活動は年々厳しくなり、新たな問題も発生していることから、行政と自治会の関係を大きく見直すべきである。自治会未加入者に対し、自治会が持つメリットを十分にPRして加入促進を図ること。

1 危機管理体制と消防団員の充実を図ること

回答 自主防災組織連絡協議会や浸水想定区域を対象とした説明会の開催、各地区自主防災組織への支援、要支援者の個別避難計画の作成などを進め体制の強化に努める。

消防団は、地域防災力の中核として欠かせない。持続可能な組織体制の確立と充実に努めていく。併せて、適切な報酬および装備品の充実についても計画的に対応していく。

検証評価 避難については、マイ・タイムラインなども含め個人の条件に合った避難方法をよりPRすべきである。災害が激甚化する中、人口減少社会では、各団体の担い手も減少している。消防団員の確保についても、さらに検討すべきである。

提言1

安全・安心なまちづくり

1 山形県の子育て支援策に賛同し、保護者負担が生じないよう町で対応すること。また、全額県で負担するよう働きかけること

回答 山形県が子育て世代の負担軽減を目的として支援を行うものであり、本町としても事業の趣旨に則り取り組んでいる。

今年度は県費負担分のみの交付となるが、保護者負担の軽減を図る町負担による財政支援は、近隣自治体の動向を注視しながら、来年度からの実施に向け検討を進めている。

検証評価 第3、第4階層において、県と町が1/2ずつ負担が図られたことは評価できる。保育料無償化は全階層にすべきである。

提言4

子育て世代への支援の充実



地域経済は町内消費の促進から



子育て支援で人口減少に歯止めを

3 旧庁舎跡地利活用のグランドデザインを早急に示すこと

回答 中心市街地の土地利用を含めた将来展望については、旧庁舎跡地利活用調査特別委員会の調査報告書を受け、川西町中心市街地活性化基本計画および川西町都市計画マスタープランの見直しにより、グランドデザインを構築する取り組みを進めていく。

検証評価 中心市街地の適正化を明確に立案し、グランドデザインを早急に示すべきである。

2 メディカルタウン整備の適正な財源確保と財政運営を行うこと

回答 メディカルタウンの整備事業は、大型プロジェクト事業であるため、地方創生推進交付金をはじめとした国・県の交付金など、有利な財源について研究を進め、活用を検討するとともに、地方債の償還見直しを含めた財政計画により、適切な財政運営を図っていく。

検証評価 民間の投資を呼び込む必要がある。また、有利な財源探しと適正な債務の償還を進め、住民サービスの低下が発生しないように努めるべきである。

1 公共施設等総合管理計画の適正な執行に努めること

回答 国が示すトータルコストの縮減と負担の平準化を図るべく、役割を終えた施設の除却や施設の統合、適正規模での更新などを含め、公共施設の数・延べ床面積削減に向けた方向性を早急に示すとともに、効率的な維持修繕に努めていく。

検証評価 常に計画の見直しを図り、突発的な更新・改修が発生しないように、適切に財源を確保し、統廃合・除却の適正な執行に努めるべきである。

提言2

計画的な公共施設の管理と適正な財政運営

次は3月定例会

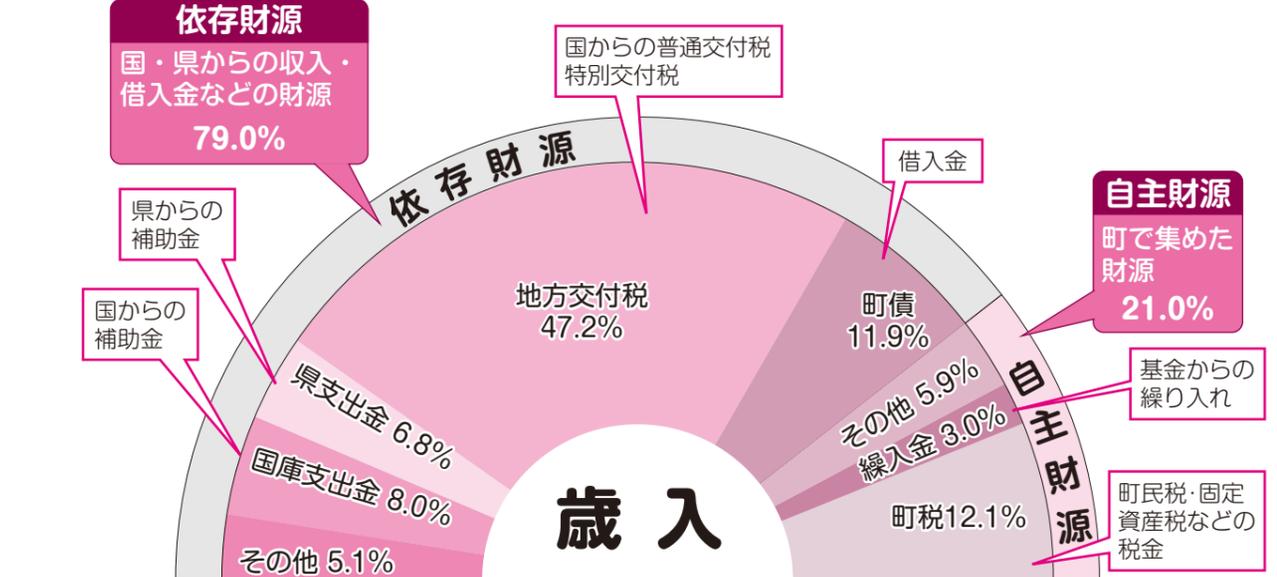
コロナ収束、通常的事業展開再開

3月
定例会

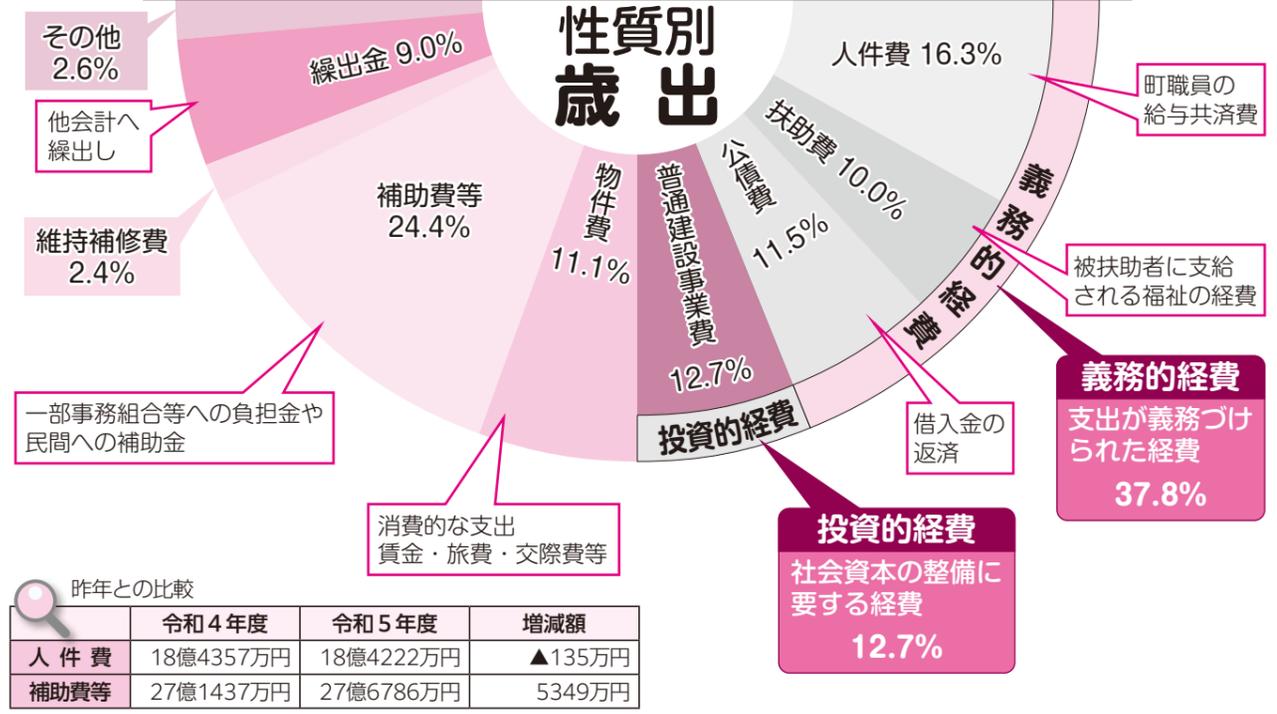
予算の内訳

昨年との比較

	令和4年度	令和5年度	増減額
地方交付税	52億3500万円	53億6000万円	1億2500万円
町債(借入金)	13億6500万円	13億4690万円	▲1810万円



一般会計 113億5400万円



昨年との比較

	令和4年度	令和5年度	増減額
人件費	18億4357万円	18億4222万円	▲135万円
補助費等	27億1437万円	27億6786万円	5349万円

- ### 令和5年度一般会計予算の特徴
- 113億5400万円で前年対比0.04パーセント増。
 - 投資的経費は、井上ひさし氏書斎再現、町民総合体育整備事業、大塚小プール改修事業など前年対比13.5%増の14億4111万円。
 - 公債費(借入金返済)は前年対比4.3%減の13億630万円。
 - 主な事業は、地域振興拠点整備、羽前小松駅前空地整備事業、虚空蔵山西線道路改良事業など

令和5年度の一般会計の総額は、113億5400万円、前年度対比0.04%増となった。大雨災害対策、地域振興拠点施設整備、メデイカルタウン整備の継続、井上ひさし氏書斎再現、町民総合体育館整備、大塚小プール改修などにより微増となった。

町長は施政方針で、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、昨年の固定資産税などの決算見込みを考慮し歳入を増額した。また、社会保障費関係費の伸びなど財政需要が増加するとしている。

町は、「かわにし未来ビジョン」の推進や、

町長は施政方針で、まち・ひと・しごと創生総合戦略のプロジェクト事業をはじめ、町の政策的課題や重要事業を可能な限り盛りこむよう努力したとしている。

財政面ではまだ厳しい。本町の最大財源である地方交付税は、全国規模総額1.7%の増額の見込みだが、大幅な増加は期待できない。各種基金の残高が乏しいなど、厳しい財政状況が続くと予想する。

議会は、町債残高が毎年増加し、142億円超となっていることや、公債費(借入金返済)が13億円となっていることから、今後も財政を注視していく。

町民の安全確保 防災対策の強化

3月定例会のあらまし

3月定例会が、3月1日から22日までの22日間の会期で開催された。

第1日目に、川西町農業委員の任命、および川西町固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦、など人事案件13件を可決、川西町個人情報保護法施行条例など、条例案11件、令和5年度施政方針の説明、令和4年度各会計補正予算6議案、令和5年度会計予算7議案を一括上程した。

第2日目、6日目に6人の議員が一般質問を行い、豪雨災害対策や男女共同参画など、町政をたじた。その

後本会議を開き第1日目に一括上程した予算案に対し総括質疑を行い、常任委員会と予算特別委員会に付託した。

第6日目を以降、常任委員会、予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審議した。

最終日に、予算特別委員会の採決後、付託された令和4年度補正予算6議案、令和5年度各会計予算7議案、条例11件、追加で契約案件2件を原案通り可決した。

議員発議により、川西町議会の個人情報保護に関する条例、川西町議会委員会条例の一部を改正する条例が可決された。今定例会の傍聴者は13人だった。

次はピックアップ

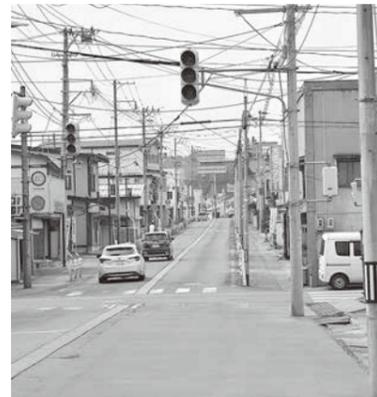
新年度に期待 私もひとこと



小松地区
羽前小松駅長
ショコラ さん
勤務員
細谷絵里子 さん

駅前広場きれいに

ニヤオ、駅前広場が広く、きれいに整備されるのはうれしいニヤオ。私に会いに全国からお客さんが来て下さいます。観光協会事務所が遠いので町の案内ができずにいます。せつかく遠いところからおいでになったのに、町のおいしいものやきれいなところをもっと案内したいですね。広い駅前広場や小松駅を観光やいろんなものの玄関口にしてください。



駅前空地対策を



鏡沼改良復旧に期待

災害、二度と起きないように

鏡沼の復旧は、現況復旧でなく、今の技術水準での改良復旧ということですが、災害が年を追うごとに激甚化しています。現在の基準等、余裕を持って設計し、二度と災害が起きないようにしてほしいです。また、水路の処理能力向上や、小松町内水路もしっかり整備してほしいと思います。



小松地区
田村トシ子 さん

メディカルタウンに夢



大塚地区
大津加一章 さん

メディカルタウン整備が順調に進み、間もなくスーパームも開店すると聞きます。これからは、若い人が根付いてくれることにより、地域に活気が出るかと期待します。新しいコミュニティを創る上では、うまく町が誘導して地元住民と交流し繋げてほしいですね。高齢者の方は、近所に病院やスーパーがあり、生活が楽になると喜んでいきます。



商業施設開店間近



書齋が再現される遅筆堂文庫

フレンドリープラザ開館30周年記念事業に向けて、本町出身の作家・劇作家の井上ひさしの鎌倉の書齋を、プラザの遅筆堂文庫内に移設再現する。愛用の机やペンなども展示され、直に触れることができるなど体験型の施設とする。

1567万円

井上ひさし書齋再現



耐震補強工事に入る体育館

以前より計画されていた耐震化事業が本年度着手される。アリーナ天井のアルミ格子が撤去され、補強ブレースが新設される。ほか、屋根からの漏水対策も施される。照明もLED化される。

2億4222万円

町民総合体育館整備事業



解体も終わり新たな施設が望まれる

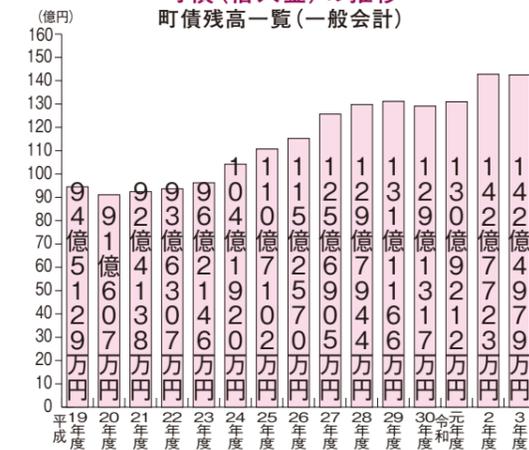
旧役場庁舎・中央公民館の解体整備を終了し、敷地造成に入る。令和7年完成に向け施設整備の第一歩が始まる。賑わいの創出を含め、中心市街地の活性化が期待される。

1億8308万円

地域振興拠点整備

ここが知りたい

町債(借入金)の推移 町債残高一覧(一般会計)



令和5年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	113億5400万円	賛成多数により可決(反対1)
国民健康保険事業特別会計	16億8621万円	全員賛成により可決
下水道事業特別会計	4億6445万円	賛成多数により可決(反対1)
農業集落排水事業特別会計	9591万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	21億675万円	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	1億8786万円	全員賛成により可決
企業会計		議決の内容
水道事業	収入 4億6601万円 支出 4億5592万円	全員賛成により可決
収益的 資本的	収入 1億660万円 支出 2億7492万円	

次は5年度予算

5年度 予算

総括質疑



人口減少を食い止めるための予算上の配慮は

神村建二 議員

神村 町の人口が1万4千人未満となり少子化対策は待ったなしだが、新年度予算で人口減少を食い止めるために配慮した点は何か。

町長 子育て環境の充実、実際に力を入れ、全階層の第2子以降の

保育料無償化、児童手当やひとり親家庭への医療支援、また高校3年生相当までの医療費無償化を継続していく。同時に、町民が心身ともに健やかで豊かな生活を送るために健康寿命の延伸を目指す。

新たな農業委員会体制は

伊藤 進 議員

伊藤 新たな委員会体制になり6年になる。これをどう感じておられるか、また今後の地域農業の在り方についての考えは。

大沼農委會長 農地中間管理事業は、人・農地プラン活動を通じて、農地の利用調整活動を

地域の農業者自らが行い、農業委員や推進委員がサポートする制度となった。

農家の皆さんと共に考え、話し合い、意見を集約し行動することが基本とし活動するのが使命となっている。

賃金・人件費の引き上げを

橋本 欣一 議員

橋本 施政方針で、物価高騰対策として、国の対策と賃金の上昇が必要であるとある。企業・事業所に対して賃上げを求めたか。

町長 一方では役場職員の雇用主でもある。会計年度職員（臨時職）などの処遇改善を

図るべきである。さらに各地区センターなどの指定管理料も引き上げ、人件費の引き上げを目指すべきではないか。

町長 企業・事業所には要望する。処遇改善では、国の方針に合わせていく。

3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	吉村 徹	島貫 借	欠 員	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	淀 秀夫	高橋 輝行	欠 員	寒河江 司	鈴木 幸廣
議第19号 令和5年度川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×		○	
議第2号 令和4年度川西町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×		○	
議第8号 令和5年度川西町一般会計予算	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×		○	
議第10号 令和5年度川西町下水道事業特別会計予算	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	

他の議案はすべて全員賛成でした。
○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。

町長に聞く

分科会の予算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた



羽前小松駅前の拡張で活性化

中心市街地活性化基本計画の見直しは 第1分科会

問 中心市街地を取り巻く環境は。

町長 平成27年5月に川西町中心市街地活性化基本計画アクションプランに内容を引き継ぎ、川西未来ビジョンと連携事業を図ってきた。中心市街地を取り巻く環境は、

平成15年と現在の比較において羽前小松駅西側地区の事業者数は、136事業者から89事業者に減少しており、駅東側地区では11事業者から19事業者となっている。

地方創生の一環として、商工会や金融機関と連携して町内での起業、創業支援に取り組む、事業者が減少する中であるが、新たな事業者も誕生している。

こうした社会情勢の変化に対応し、地域課題の解決や地域の活性化を図るべく、基本計画の見直しに着手した。令和4年に町民アンケート調査を実施し、人づくり、地域づくり、仕事づくり、の3つの視点で中心市街地の現

第1分科会

状と町民の意向を分析し、課題等の整理を進めている。

また、令和5年度当初予算において、羽前小松駅前の空き地の取

保育料完全無償化は 第2分科会

問 保育料完全無償化に向けた考え方は。

町長 現在、国の保育料無償化は、3歳児から5歳児は所得制限なしで実施され、0歳児から2歳児については、全8階層中低所得者層である第1階層および第2階層、さらに第3子以降は全額無償化、第2子は半額無償化している。また0歳児から2歳児の

得費を計上し、駅前の環境整備に着手していく。

今後、町の中心部である小松地区において地域振興拠点施設を核として公共施設の適正な配置、道路等のインフラ整備、空き家や空き店舗の有効活用による新たなビジネスの創

出、担い手育成などさまざまな観点から計画を進める。

意見 公共施設などのインフラ整備や空き家、空き地施策はもとより、民間活力を人流の創出や賑いづくりに生かし、中心市街地の活性化を図るよう意見を付した。

えており、4月から発足する「こども家庭庁」の施策を注視し、県と連携、協調を図り要望活動を展開していく。

意見 国に対して継続して要請していくとともに、町独自の保育料無償化に関して財源や多子の基準等について調査および検討しながら、子育て世帯の経済的負担を軽減するよう意見を付した。

次は分科会審査

メデイカルタウン

地方創生拠点の基本構想を策定

問 メデイカルタウン整備事業の経過は。

政策推進課長 地方創生拠点施設整備に係る基本構想を策定するため、基本構想検討の委員会を設置した。

意見 地元大塚地区に限定せず人選を考慮するように。

問 置賜農業高等学校連携推進事業は。

まちづくり課長 町と置賜農業高等学校との連携協定（P4参照）に基づく支援であり協力していく。

意見 入学希望者の増加に向け、より一層学校との連携に努めること。

問 地域振興拠点施設整備事業の状況は。

政策推進課長 旧役場庁舎等解体工事や敷地造成



メデイカルタウンの商業施設 = まもなくオープン

成工事等の他、賑いづくりに資する具体的活用方法を検討する。

意見 アドバイザーおよび先進地視察研修先については、適切な選定に努めること。

問 地区交流センター管理運営事業は。

まちづくり課長 地区交流センターの指定管理料について、最低賃金改定に伴い人件費の増額を見込んだ。

意見 町内における関係団体を含めて処遇改善に努めること。

問 ライフプラン支援事業は。

まちづくり課長 結婚支援を行う事業だ。結婚を希望する

独身者の出会いの機会を拡充するなど、成果につながる取り組みをすること。

問 フレンドリープラザ開館30周年事業は。

教育文化課長 来年、フレンドリープラザが開館30周年を迎えるため、今年準備の年である。井上ひさし氏の書斎を

遅筆堂文庫内に移設して、来館者が直接触れられる、体験型の空間として公開を目指す。整備に当たっては、設計内容を精査しクラウドファンディングの寄付を募る取り組みを進め、町内の文化、観光資源との連携を図ること。

意見 整備に当たっては、設計内容を精査しクラウドファンディングの寄付を募る取り組みを進め、町内の文化、観光資源との連携を図ること。

*クラウドファンディング
多数の人による少額の資金が他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと

鏡沼の災害復旧

令和7年度に工事完了予定

問 都市計画施設（鏡沼）災害復旧の進捗は。

地域整備課長 置賜公園法面崩壊にかかる災害復旧工事については、県が事業主体となり令和4年度から令和7年度にかけて実施する。

問 マイナンバーカードの交付状況は。

住民課長 デジタル化に対応しカード所有者のサービスを検討する。

意見 申請受付体制を強化すること。

問 避難行動要支援者避難支援は。

福祉介護課長 関係者および自治会等との連携を密にする。

意見 豪雨および地震災害等に対応した個別避難計画の策定に努めること。

問 川西診療所整備検討事業は。

健康子育て課長 川西診療所整備に向け調査、研究をして医療、介護、福祉の関係者を対象に意見、情報交換を行う懇談会を開催する。

意見 議会に対して適宜、説明報告に努めること。

問 塩ノ沢射撃場の災害復旧は。

農地林務課長 令和4年8月の豪雨で被災した塩ノ沢射撃場土場について、猟友会と復旧に向け協議を行い、現在の場所での原型復旧工

事の支援をする。トイレ等の環境整備を進めること。

問 農業委員報酬の詳細は。

農地林務課長 農業委員、農地利用最適化推進委員報酬の活動実績加算は、農地利用の推進を図るため農地の集約化、遊休農地の発生防止解消および新規参入の促進活動に基づき加算されるもの。

問 女性農業者支援の活動は。

産業振興課長 意欲ある女性農業者が営農活動に必要な機械整備、資格取得に要する費用等に対する補助金について、計画に基づき必要



被害を受けた鏡沼 = ダリヤ園上空より

額を確保している。

意見 初期投資支援を増額するように。

問 国民健康保険事業の運営状況は。

住民課長 団塊世代が後期高齢者医療へ移行したことにより、令

和4年度から前期高齢者数が初めて減少した。被保険者が安心して医療を受けられるよう、適正な運営と財政の健全化に努めること。

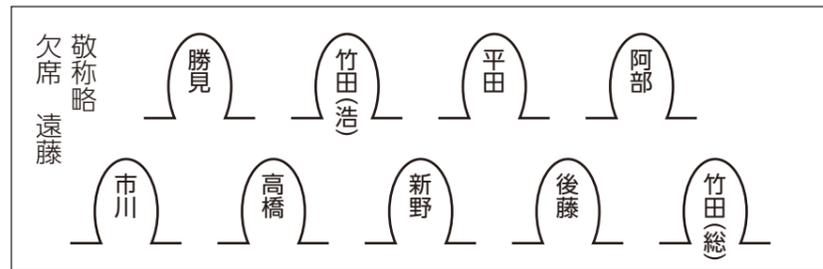
人事

新 農業委員に同意

令和5年3月18日、任期満了となる農業委員の新委員が提案され、全員同意された。大沼藤一会長は、農業委員新制度が発足以来3期9年間会長職を務められこの度退任された。任期は令和8年3月18日まで。



農業を取り巻く厳しさに取り組む新農業委員



- ① 高橋 孝博 (再任) 小松
- ② 平田 壽和 (新任) 大塚
- ③ 勝見 和彦 (再任) 犬川
- ④ 竹田 総一 (新任) 中郡
- ⑤ 市川 博幸 (再任) 玉庭
- ⑥ 竹田 浩徳 (新任) 東沢
- ⑦ 新野 勝廣 (再任) 吉島
- ⑧ 阿部つや子 (再任) 小松
- ⑨ 遠藤 愛 (新任) 吉島
- ⑩ 後藤 満良 (再任) 小松

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

令和5年3月31日で任期満了となるため提案され、同意した。

● 齋藤 幸雄氏 (再任) (莅)
全員賛成により同意

人権擁護委員推薦

法務大臣より推薦の依頼があったので議会へ意見を求めるもの。

● 平 善昭氏 (再任) (洲島)

● 黒澤紀美子氏 (再任) (堀金)
全員賛成により同意

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

令和4年10月から令和5年3月まで

月	件数	金額	内容	月	件数	金額	内容
10月	1	5,000	川西町国際交流協会10周年記念式典	2月	1	10,000	川西町建設業協会意見交換会
11月	3	31,500	香典、葬儀用生花	3月	1	8,000	大沼藤一氏受賞祝賀会
12月	1	5,500	供花	下半期合計		60,000	
1月	0	0					

条例

消防団の定数と報酬を改正

災害多発の時代に必要不可欠な消防団の再編を進めるため、定数や手当を出動時間に応じて支給するための改正である。

団員を630名から500名に整理した。出動手当を時間割とし、4区分割にして、2時間未満1000円から8時間以上8000円の支給となる。

全員賛成により可決

川西町特別職の給与を改正

農業委員と選挙管理委員、監査委員の報酬を改定し、農業委員は現行から町長が定める額が加算される。選挙管理委員は委員長が年額17万5千円から19万円に、監査委員は月額3万2500円から3万5千円に改正される。

全員賛成により可決

国民健康保険条例の一部改正

国の施策の変更で、出産育児一時金の額が42万円から50万円に引き上げられた。出産にかかわる経済的負担を軽減するためである。令和5年4月1日からの出産から適応となる。

全員賛成により可決

正算 補予

令和4年度一般会計補正予算(第9号)では、災害復旧費を中心に、令和4年度中に事業が完了せず、令和5年度へ繰り越される繰越明許の補正と、農業施設災害復旧事業(大光院堤1号鏡沼、大沢堤)の県委託料(県

大雨災害 復旧に対応

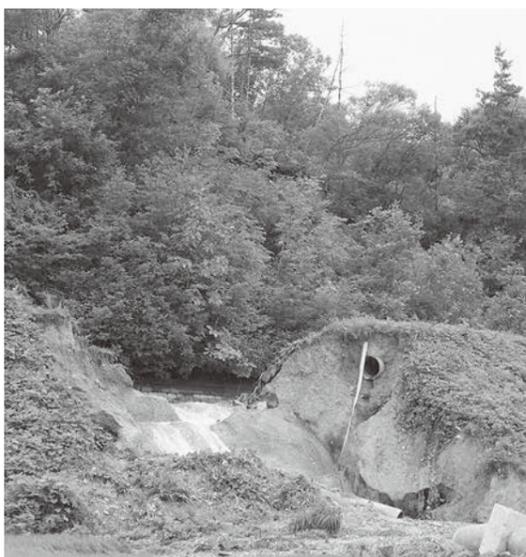
が主体となって復旧工事)や町単独での復旧事業(応急工事や小規模工事の不足分)、産地復旧、農機具被害支援、各施設の光熱費の高騰分などに充てられる。

全員賛成により可決



堂々の分列行進 = 庁舎前

ほかに、個人情報保護条例、いじめ防止条例、置賜広域行政事務組合規約の変更など、国の上位法が改正されたための変更改正が行われた。基盤整備事業による字界の変更で、高山地区と高豆薺地区の字の区域および名称が変更された。



決壊した長堀堰 = 犬川地内

災害

豪雨災害全容解明後の課題と対策は

町長 一 早め早めに避難誘導し万全を期す

神村 昨年8月3日本町に降った大雨は道路、河川、農業施設、ため池等に記録的な被害をもたらした。約半年が経過した現在、全容解明で見てきた課題および対策について伺う。「ため池の復旧」、「空き家となった住民への支援」、「土砂災害への対応」、「米坂線再開の打開策」は、

「米坂線再開の打開策」は、今回の大雨の被害状況は、建物、道路、河川、ため池等被害額は総額50億2千万円となった。記録的な災害の体験から今後の課題として、想定外の短時間豪雨時

は、的確な事前情報の発信が必要であると再認識した。早め早めに避難誘導を実施し、町民の安全確保に万全を期していきたい。「ため池の復旧」媒体本体の強化や緊急放水施設の整備、洪水吐の機能強化を含めた復旧策を講じる計画を策定した。また、ため池の監視体制も必要であり、ため池への監視カメラの設置を進め、併せて監視員による日常点検の体制を構築する。

「空き家となった住民への支援」被災区分で半壊判定となった世帯は4世帯で、内2世帯は応急修理支援を活用しながら修理・復旧し現在生活を行っている。残り2世帯の内1世帯は1人暮らしの高齢者で、現在は町外の親族と同居生活を行っている。残り1世帯は町営住宅に転居し生活を行っている。

「土砂災害への対応」現在町内では土砂災害警戒区域が62カ所、土砂災害特別警戒区域が41カ所指定されている。町が全戸配布した川西町洪水・土砂災害ハザードマップに指定箇所を示し、有事の際に備えた行動を促している。また、住宅を移転する支援策として、



神村建二 議員



置賜公園の崩落状況 = 公園下

移転者に国、県、町が協調して補助金を交付する制度を設けている。「田んぼダム」の本町での実証実験で減災

効果が確認された、今後地域全体で取り組みを強化したい。「米坂線再開」は粘り強く要望していく。

町政をたただす



6人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目・第6日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

P21	神村 建二 議員	① 豪雨災害全容解明後の課題と対応は ② 米坂線再開に向けての対応策は
P22	渡部 秀一 議員	① 観光拠点の在り方とダリヤ園周辺の復旧は
P23	橋本 欣一 議員	① 有機栽培・有機農産物の拡大 ② 交通(道路)状況の進展による本町の展望
P24	吉村 徹 議員	① コロナ感染症対策 ② 介護保険事業計画 ③ 防災体制 ④ 物価高騰 ⑤ 置賜定住自立圏構想
P25	遠藤 明子 議員	① 女性が輝く社会づくり ② 婚活事業の取り組み ③ 公立中学校部活動の地域移行
P26	井上 晃一 議員	① 請願案件の実施状況は ② 町、および関係団体職員の労働環境

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見る事ができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)
①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかった。

まちの未来が見える(3月定例会の傍聴者は13人)
議会傍聴においでください
次回定例会は6月です

どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階においでください)
定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



川西町議会FB QRコード



川西町議会HP QRコード

一般質問

観光

観光拠点の今後の在り方と復旧は

町長 ― 令和5年度より国や県の支援を受け復旧整備する



渡部秀一 議員

渡部 昨年8月豪雨災害でアクセス道路「上六角・平谷地線」が通れなくなっている。どのように復旧し、いつ開通するのか。

ト橋で復旧する。ボックスカルバートの納品が4月下旬になることから、全面開通は7月末を予定している。

渡部 ハーブガーデンは知名度も上がり、リピーターが増え始めた矢先の被災だったが、どうするのか。

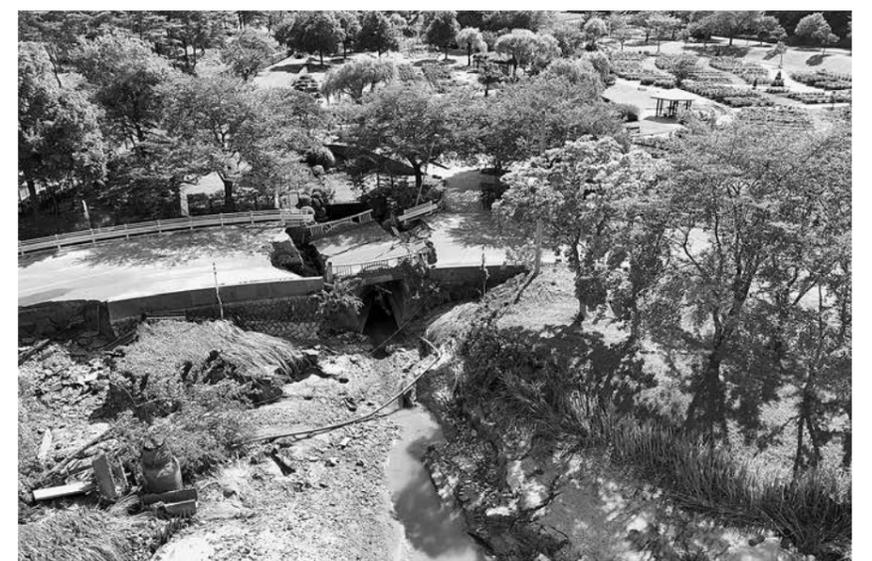
町長 鏡沼の越水・決壊により全域が冠水し、鏡沼の排水路等に大きな被害を生じた。令和5年度から復

旧工事を行う。排水路工事では、園内に仮設道路を設けるため、一般の利用は困難になることから、令和5年度はハーブガーデンフェアの実施を見送ることにした。

置賜公園の活用法は
渡部 置賜公園も土砂崩れを起こして復旧しなくてはならないが、公園全体の活用法も見直しが必要なの

ではないか。以前は散策路との回答だったが、位置的に見れば観光拠点の顔である。鏡沼等の復旧工事で周りの環境が変わることや、野外ステージの除却予定も考えれば良い機会ではないか。

町長 公園一帯は、本町の観光拠点である「ふれあいの丘」の玄関口にあたり、今後の活用法については、野外ステージの除却も踏まえて再検討していきたい。来園者が安全に利用できることを第一に、関係者と意見交換を行いながら今後の方向性を整理検討する。



特注のボックスカルバートで修繕される予定 = 町道六角平谷地線

渡部 観光拠点として、ダリヤ園一帯はまとまった所にあるので、アクセス道路は重要であり、景観は美しくすべきであると考え。訪れる人は大事なお客様であることを忘れないで頂きたい。

※ボックスカルバート橋（溝橋）
道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するため盛土または地盤内に設けられる構造物

道路

梨郷道路など新道供用でどう変わる

町長 ― 置賜生活圈30分構想の実現を目指す

橋本 令和5年度は川西町にとって大きな飛躍の年となる。国道113号梨郷道路、国道287号米沢長井道路一期工区（西大塚地内から主要地方道高畠川西線までの2・9キロ）、さらに町道虚空蔵山西線の3本の新たな道路が供用開始される。さまざまな効果が期待できるがどのようにとらえるか。

町長 物流や人的交流で大きな役割を担うだけでなく公立置賜総合病院への緊急搬送路として置賜圏域住民の安全安心を確保する「いのちの道」となる。また、病院周辺の

土地利用によるメデイカルタウンの整備推進により定住人口の創出と交流人口の拡大を一層進める。虚空蔵山西線の供用により、川西ダリヤ園、まどかを含む「ふれあいの丘」、フレンドリープラザを中心とした「であいの丘」、地域振興拠点を核とした「にぎわいの丘」の有機的な連携により本町の魅力拡大と集客力の向上を図る。また、川西町都市計画マスタープランの見直しで中心市街地の活性化に取り組む。

町長 新道にアクセスする道路の改良と交通量に応じた対応を米沢警察署と協議していく。

町長 「かわにしオーガニックビレッジ推進協議会」の設立で有機農産物に対する関心が高まっている。有機JAS認証が必要となるが、認証事務の煩雑さと一般農産物との厳密な区別が必要となり、農機具、施設の改修が必要となる。支援がなければ取り組み

取り組むことを検討する。農機具・施設の改修補助は国・県の情報収集する。



橋本欣一 議員



供用開始間近の国道287号米沢長井道路 = 県道高畠川西線

一般質問

ワクチン

コロナ感染症対策の現状は

町長 ワクチン接種率58・7%となっている



吉村 徹 議員

吉村

日本共産党町議団は年明けから、町民アンケート調査を実施、その後町民の方々からさまざまな要望が寄せられており、その声を受けての質問とする。コロナ感染症対策の現状は。

なっている。引き続き、国、県と連携し、ゼロ蜜、手指消毒などの基本的感染防止対策を徹底していく。

吉村

2類から5類にたつての本町の対応は。

町長

ようやくウイズコロナ、アフターコロナへ向けた具体的な転換施策の一つが5類移行であり、明るい兆しが見えたものを受け止めてはいるもの

の、後戻りしないよう気を緩めることなく対応していく。

吉村

ワクチン接種による副反応や後遺症についての本町での状況は。

町長

中には、接種会場で動悸を訴え医師の指示で救急搬送された例もあったが、その方を含め、症状が悪化した事案はない。なお、国では、副反応での健康被害に対する

救済制度があるが、町内で救済制度を受けられた方はいない。

吉村

介護保険料について、多くの方が保険料の負担が大変と感じているが、令和6年からの第9期介護保険制度見直しに向けた考えは。

町長

次期第9期事業計画の策定に向けて、町内の高齢者に対しニーズ調査を実施し、高齢者本人や介護



進むコロナワクチン接種

をされているご家族の意見を集約しており、今後国から示される推計人口や介護報酬改定率等を勘案し策定していく。

吉村

昨年8月3日の豪雨災害について、防災無線が聞こえなかった。情報の伝達

について検討すべきでは。

町長

屋内でも防災無線の音声を確認することのできる個別受信機の配備を進めている。

その他

物価高騰対策、生活交通の在り方について質問。

女性活躍

認定女性農業者事業の実績と課題は

町長 一 認定期間は5年間、11人を認定

遠藤

男女共同参画における女性の就業支援（認定女性農業者）事業の実績と課題は。

町長

認定期間は5年間で、今年度までに累計11人の女性農業者が認定を受けた。営農活動を行うために必要な機械や施設等の購入経費等の助成に加え、今年度からは、資格取得に要する費用等も対象とした。課題は、認定期間経過後の支援の在り方で、検討が必要である。

遠藤

認定期間を経過した方は何人か。5人が終了している。

遠藤

女性農業者がいきと就業するためのネットワークづくりが大切では。

町長

認定を目指す女性農業者も含め、情報交換を図るための意見交換会等を定期的に開催するなど環境整備に取り組み。

遠藤

政策・方針決定過程における女性の参画の状況は。

町長

委員会の比率は、令和元年度の88・0%から本年度は、96・2%の実績。また、審議会等女性委員の比率は、令和元年度21・2%から本年度は24・6%と増加したものの、目標の30%には届いて

遠藤

役場男性職員の育児休暇取得は。令和4年度中で

町長

は、妻が出産した男性職員4人のうち1人が育児休暇を取得している。育児参加休暇が新設され、対象男性職員2人が取得した。

遠藤

県が中心となつて事業推進を行っている「山形ハッピーサポートセンター」と町の連携や、町が委嘱している婚活サポートの活動は。

町長

県内市町村、商工団体、農業団体と連携して設立。県

民総ぐるみで婚活支援の強化を図っている。また、川西町婚活サポート1ターは町内で飲食店を営む3人に委嘱し情報交換等支援活動をしている。

遠藤

今年度の実績は。会員登録者数は全体で1247人、お見合い数346組、交際成立数165

組、成婚数23組。本町では、会員登録者数は男性18人、女性1人、成婚数1組となっている。

遠藤

若者同士が出会い結婚に結びつくよう、積極的な支援で見える化を。公立中学校部活動の地域移行について質問。



定着した認定女性農業者

一般質問

請願

町長 ー 研究中だが一部調査予算を計上

採択請願の進捗状況は



井上晃一 議員

井上 当職が紹介議員で採択された請願の進捗状況は。

町長 「JR羽前小松駅の東西区域をスムーズに往来できる自由通路の整備推進」の進捗は、自由通路に限定せず道路の拡幅等調査研究し、東西アクセス整備の議論を重ねている。駅前空き地の用地買収に向け予算を計上した。立地適正化や都市計画を見直し、

その中で進めたい。「小松幼稚園周辺道路整備」は、現状を把握している。住宅が密集し道路や水路があるため、相当な事業費と検討が必要。現況の調査研究中である。局所的にも対応し進めたい。

「町道岡之在家高橋線歩道および歩行空間の改善」は、歩道の一部を修繕するためJRと協議し工事を発注した。来年度、道路整備

の概略設計の調査費を計上した。

井上 請願採択案件は、進行管理し状況を請願者や議会に丁寧に報告すべきではないか。

町長 毎年、実施計画書で議会に提出している。

井上 労務管理は正の具体的な取り組みは。

町長 第三者委員会より、労働時間の

把握、時間外労働についての意識改革、職務遂行の支援について提言を受けた。改善に取り組んでいる。

井上 入退庁管理だけでなく業務改善が必要。

町長 業務の見直し簡素化を進めている。

井上 答弁書は簡潔明確に。ハラスメント防止対策は。

町長 業務の見直し簡素化を進めている。質問の答弁書を作るのにも労力が掛かる。

法に則り訓令を設け対応している。

町長 内部外部に相談窓口を設け適切な対応に努めている。

井上 職員に対して意識改革、教育の機会を与えているのか。

町長 ハラスメントに関する研修や安

全管理の指導を行っている。

井上 災害時等の職員の労務管理は適切か。

町長 初動の部分で労務管理は厳しい状況だった。適切な管理に努める。



整備が待たれる小松幼稚園の周辺道路

委員会レポート

提言検証評価

総務文教常任委員会

令和5年2月10日（金）、令和3年度に政策提言した各項目に対して、担当課からの説明を受け、現在の進捗状況を確認した。各委員からは多方面からの検証が行われそれぞれに評価された。特に、近年頻発する災害、防災に対する質問が多く、評価に対しても厳しい意見が出された。

協同薬品視察

産業厚生常任委員会

令和5年2月16日（木）、町内企業の現況調査を目的に、協同薬品（株）の視察研修を実施。2022年12月に日新製薬（株）の子会社として独立登記し、同年4月より新たなスタートを切った。社員数100人（2023年2月現在）である。事業内容は、医薬品、医薬部外品、健康食品等の開発・製造・製造販売を行っている。現在、近隣では公立置賜総合病院を含めた医療、住宅、商業等が融合する都市的機能を有したメディカルタウン整備が着工中である。協同薬品（株）が所有する松林等の活用を視野に入れ、町内企業と町が連携する地域づくりが可能になるのではないだろうか。

特別委員会

置賜農業高等学校存続に関する特別委員会

これまでの取り組みでは、期成同盟会設置等を念頭に活動してきた。しかし、当初の学校再編に関して山形県教育委員会が修正をしたこともあり、存続を求めることに変更はないものの、それに合わせた取り組みとなった。今後は、置賜地域の農業者を育てる高等教育機関であるという考えに立った運動が重要であり、関係機関団体等と連携を図りより良い方向性となるよう期待する。

3特別委員会が審査を終了

主要地方道米沢飯豊線管沼峠整備に関する特別委員会

これまで県および関係県議会議員へ積極的な要望活動を実施し、飯豊町や主要地方道米沢飯豊線管沼峠整備促進期成同盟会と懇談会を開催するなどの取り組みを行ってきた。

中心市街地活性化調査特別委員会

中心市街地活性化の調査では、商工会青年部との意見交換会、（株）まちづくりサポートセンター代表取締役佐藤克己氏による「中心市街地の賑わい創出に向けて」をテーマとした講演、令和5年1月には若手県紫波郡紫波町「オガール波」のまちづくりの先進地視察調査を行った。

また、中津川橋のケール損傷時や飯豊町高峰地内の雪崩発生時に菅沼峠が迂回路として利用されるなど、災害等緊急時においても本路線の重要性がより高まった。今後も整備促進の取り組みが継続され、一日も早い安全な通行が確保されるよう期待する。



協同薬品横澤社長と懇談

次は全員協議会

いいね！かわにし 街かどインタビュー

全員協議会 1月31日

報告事項

- (1) 元職員遺族による提訴
- (2) 国の災害対策に関する2次補正の取り組み
- (3) 川西町立川西中学校校舎。屋内運動場等長寿命化に係る調査事業

協議事項

- (1) 川西町議会の個人情報保護に関する条例
- (2) 議会タブレット導入

全員協議会 2月7日

報告事項

- (1) 元職員遺族の訴えに対する対応

全員協議会 2月20日

報告事項

- (1) 令和5年度予算の概要

2月7日一般会計 補正予算(第8号)

年度内に終了することができない事業を、次年度へ繰り越して行うため繰越明許措置を行った。
また、子ども子育て支援、農業関連施設・事業他に対し国より交付金が追加され補正するものである。

全員協議会 3月17日

報告事項

- (1) 8月3日からの大雨の災害(復旧)対応
- (2) 川西町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定(案)
- (3) 玉庭小学校および小松小学校学区再編

《主な追加事業》

- ・教育保育給付
- ・出産・子育て応援交付金 伴走型10万円
- ・ため池総合整備(飯坂、四釜、間坂)
- ・大塚西部基盤整備
- ・光熱費対策

賛成多数により可決
(反対4人)

時 会 臨 議



広報モニターから ひとこと ⑧ 東沢 小方 圭子 さん

ところが、ここ数年は地球温暖化の影響が、クーラーなしでは過ごせなくなりました。昨年夏の線状降水帯による豪雨も、地球温暖化の影響と言われてます。わが家の田も冠水し、水路に土砂が流入して大きな被害が出ました。
幸い住宅に被害はなく、復旧工事もすぐに取りかかっていただけなのですが、他の地域はどういう被害が出ているのかわかりませんでした。
「議会だより」では、各地域の被害状況やその後の復旧状況が報告されていて、参考になりました。
災害から半年以上が経過しましたが、まだ通行できない道や治っていない橋もあります。これからも継続して復旧状況を知らせていただきたいと思います。



遠藤なつめさん(小松)

母がハンドメイド作品を出店していることもあり春待ち市に遊びに来ました。温かい人が多い町で、川西が好きです。若い人が立ち寄れる公園や遊び場がほしいです。新しくできる拠点施設に期待しています。



鈴木 弘美さん(米沢市)

イベントを町や住民みんなで盛り上げていて元気ある町だと感じています。転勤で越してきて、川西町を知り、ダリヤ園にも昨年来ました。フレンドリープラザでは、演劇等作品を安く見ることができ、うらやましいですね。



今野 瑠美さん

転勤で越してきました。町の印象はのどかで、のんびりしている。でも、みんなやさしいです。子育て支援センターを利用して、ママ友ができました。ドライブスルーがあるといいですね。



情野 雪音さん(小松)

自転車通学をされていて、下校時に街灯がなく暗いです。防犯灯をつけてほしいです。若い人が集まる場所があれば活気がでると思います。



金子 愛子さん

商店街が寂しい。もっと町に活気がほしいですね。祭りも高齢化していて、若い人も参加すれば良くなるのでは。役場では職員がとても親切に対応してくれていますね。



甲谷 容子さん(米沢市)

転勤で越してから鈴木弘美さんと仲良くなりいろいろな所へ出かけます。ダリアの花が好きで、ダリヤ園やハーブ園にも来ています。今年の春待ち市は施設内でゆっくり見られて楽しいです。



竹内絵里奈さん(米沢市)

学校の実習が楽しい。登下校中に時間をつぶせる所がない。米坂線の電車の本数が少ないので、高校生のためり場がほしい。町は自然豊かだが、全体的に暗いイメージです。



安部 善映君(天川)

小松駅から往復通学時、特に冬期間消雪の水撥ねがひどいので、解消してほしいですね。また、国道となった押川街道の街路が暗いので、明るくしてほしいと思います。

3月4日(土)フレンドリープラザにて春待ち市、3月11日(土)生きがい交流館にて中心市街地活性化に向けた講演会のイベントが行われ、来場された皆さんに直撃インタビューを行った。

次は追跡SDGs

二酸化炭素削減の取り組み推進

気候変動の影響を受け、国内外で脱炭素社会に向けた取り組みが求められ、町は2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」

言を表明した。また、第4次環境基本計画を基に対応策を定めて推進することから、温暖化対策実行計画を策定し、目標を目指した取り組みを行うとしている。

2020年9月議会の一般質問に対し、町は「SDGsを意識した取り組みを進めて行く。推進する取り組みの一つひとつがSDGsの目指すゴールにつながる」

この度、「2050年カーボンニュートラル」達成に向け、「川西町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」が出された。

無理のない範囲で進めたほうがよい

上に進めていくとしている。

脱炭素社会を意識した、産公学民が一体となつて取り組む各種施策を定め、町民や事業者と協働して再生可能エネルギー導入などの取り組みをこれまでで

再生可能エネルギーの導入に関する町民および事業者アンケート(令和4年5月25日)6月15日まで。対象町民2000人中、回収数705人。事業者100人中、回収数41

の答えでは、「無理のない範囲で進めたほうがよい」が町民、事業者とも大多数であった。地域内の取り組みを展開するため、行政が率先的行動を示しながら、産学民も含めて一体的に推進することが重要で、行政は地域の

目標達成の6項目

- 施策方針1 環境への理解を深める
- 施策方針2 地球環境を守る
- 施策方針3 再生可能エネルギーの活用を進める
- 施策方針4 緑と生物を守る
- 施策方針5 ゴミを減らす
- 施策方針6 住環境を守る

重点対策5項目

- 重点対策1 農業の活性化
- 重点対策2 里山の再生
- 重点対策3 公共施設の脱炭素化
- 重点対策4 次世代人材育成
- 重点対策5 協働のまちづくりの推進

特性や課題に応じた施策推進のために情報発信や側面支援を行っていくとしている。

アンケート結果を踏まえると、町民理解を十分得るための計画を立てて、推進していくことが求められていると感じた。

地域脱炭素
=再エネを活用した地域経済の活性化に貢献

2 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を實現しよう
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさも守ろう

13

年連続入賞

優秀賞

第4位

町村議会広報全国コンクール(応募総数318紙)

審査員 講評

議会広報ポーター

芳野 政明 委員長

裏表紙「インタビュー」町民の声や「新年度に期待私もひと言」に、新たに「街かどインタビュー」が加わり、住民登場の間口を広げています。

見出しや視覚要素が効果的で訴追力が高い紙面です。議会の役割

発揮や存在感を示し、読み応えのある企画編集です。安定感に加えて新たな挑戦にも期待

します。

エディター

吉村 潔 委員

充実したコンテンツ、ていねいな議事公開は、

全国の議会広報の中でも屈指の存在です。

追跡など盛りだくさんの内容で、わかりやすい見出しがガイド役を果たしています。取材写真の多さみても、紙面づくりへの熱意、こだわりを感じます。

次のステップ、今後の展開を注視したい議会

広報紙の一つです。

グラフィックデザイナー

長岡 光弘 委員

議会の政策提言を検証した情報、議会の要望や留意事項を訴追した付帯決議の情報、新年度予算に対する総括

質疑および分科会の質疑情報等、議会のチェ

全国町村議会議長会 表彰(在籍15年)

3月1日議会議長会初日、橋本欣一議員(上小松)が議員在籍15年を経られたことにより、全国町村議会議長会より表彰を受け、賞状の伝達が行われました。真におめでとうござい

ます。

これからのさらなる

ご活躍を、ご期待申し上げます。

雪解けが早く、温暖な気候が続ぎ、桜の花も咲き始めた。入園式に桜が咲いたのは記憶になく、記録に残る微笑の春となった。

表紙の写真



微笑の春

春の柔らかな日射しを受けた4月7日、学校法人天竺学園認定こども園で入園式が行われた。

今年度の入園児は、2才児から5才児までの46人。家族の愛情をいっぱい受け、たくさんの友だちと遊び、遊び、元気にたくましく育つことを願うばかりである。

雪解けが早く、温暖な気候が続ぎ、桜の花も咲き始めた。入園式に桜が咲いたのは記憶になく、記録に残る微笑の春となった。

次はインタビュー町民の声

町民の声

これからも 安心安全に暮らせる町に



❖ プロフィール ❖

安孫子 唯さん(あびこ ゆい)

川西町大字高山
家族は夫と子ども2人
4人家族 南陽市出身

中郡地区にお住いの安孫子唯さんから川西町についてお話を聞きました。

現在の仕事や子育て状況はどうですか

夫は会社員で南陽市に勤めています。

私は子育てを考えて定時で帰れる仕事に変えました。勤務地は米沢市です。

小学生と保育園児がいて、小学生の子どもは学童保育へ行っています。保育園児は延長保育を少し長くできる小松保育所へ連れて行ってから仕事に向かい、仕事後に迎えに行つて家に帰るといふ毎日です。

休日など家の周りで子どもたちが遊んでいる時などは、近所の方々に、子どもを見守ってもらっていることでもあります。

生活していて不向きなど感じていることがありますか



あったかファミリー

特に不便に感じたことはないので、冬期間風が強い場所があるので、解消できればいいですね。

買い物は仕事帰りに、休日は町外へでかけます。近所にコンビニがあるので、子どもと歩いていくこともあります。

将来的にどのような町であってほしいか、お聞かせ下さい

若い人が少ない中で、災害時の避難体制に不安があります。

消防団員の夫が出勤した際、避難しなければならなくなると、となり近所は老人世帯なので、子どもや近所の対応など、どうすれば

交通弱者の対策を

いいのかと思います。最上川、誕生川の合流点なので、避難経路など、昨年の水害のことを考えると心配です。安心して暮らせるようにしてほしいです。

町に特に望みたいことは、子どもが大きくなり高校進学した時の通学や高齢者の買い物等、駅、病院、スーパー、役場等を循環して回るバス等があるといいのではと思います。特に、高校生の通学などを聞くと、最寄りの駅までが大変なようので、何か対策を考えてもらいたいです。

編集のあとで

▼今のメンバーで編集する最後の号となりました▼1期4年の任期中コロナ禍が3年、大雨洪水被害が3回と、異常事態が続いた期間でした。これに対して議員・議会が町民のために何ができるか自問自答することが多い期間でした▼改選でメンバーが変わります。新鮮な議会だよりに期待します▼ご愛読ありがとうございました。

(きんいち)

- 発行責任者 鈴木 幸廣
- 委員長 橋本 欣一
- 副委員長 遠藤 明子
- 委員 伊藤 進
- 同 寒河江 司
- 同 井上 晃一
- アドバイザー(文章) 佐々木賢一
- アドバイザー(写真) 山田 順一
- 齋藤 文夫